

学校だより



みつつの気

平成 30 年 12 月 21 日

げん気
やる気
がまんの気



【学校教育目標】 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成

2学期のこんなこと・あんなこと その2

前号に引き続き、2学期のこんなことやあんなことをふり返りご紹介します。

大切な一人一人 命を大切に… 感動の学習発表会

学習発表会では、それぞれの学年の発表内容が、「命」という共通のテーマとなっていました。事前に「命をテーマにした学習発表会にしよう。」と話し合っていたわけではありません。「子どもたちにこのようなことを学ばせたい。」「このことについて深く考え、大切にしてほしい。」という、各担任の思いが、繋がっていたのだと思います。

- 1年生… 生まれてきた命の喜びと大切さを感じられる、素敵な発表でした。子どもの誕生や成長に対する家族の喜びを感じ、一人一人の大切さを考えた、内容の濃い上手な発表でした。
- 2年生… 国語科で学んだ獣医さんの仕事やポニー体験などをもとに、動物の命も人と同じく大切なものであるということをしっかりと考え上手に発表しました。視点を変えた良い学びでした。
- 3年生… 国語科の「三年とうげ」という物語は、寿命が尽きてしまう不安に対し、「とんち」で登場人物の気持ちを軽くするという劇でした。ステージをいっぱい使った動きと歌が素敵でした。
- 4年生… 「上場水ものがたり」は、命に欠かせない水を確保するための、先人や現在の人々の努力を学び、「命の水」の大切さを考え、訴えかけました。社会科の学習が見事に統合された学びでした。
- 5年生… 防災について学んだことを、報道の形で伝える素晴らしい発表でした。ニュースを見ているようで、災害の恐ろしさや防災の大切さがしっかりと伝わってきました。最後に米作りの感謝を被災地につなぐ5年生の思いに、胸をうたれました。
- 6年生… 修学旅行で、戦争の悲惨さや不戦の大切さをいかに深く学んだかが強く伝わってくる発表でした。映像と言葉による発表でしたが、その堂々とした発表は、まさに全校のお手本でした。

そして全校合唱。今年も勝野先生のご指導を受けて、美しい歌声になりました。心をひとつにした子どもたちの表情と歌声に、涙が出ました。本当にいい子たちです。



シンガーソングライター monさんを迎えて 人権集会

～生まれてきてくれてありがとう～

monさんは、糸島市在住のシンガーソングライターで、年間約200カ所で、自分が受けたいじめや差別で感じたことをもとに、命や人権の大切さを、歌と語りで訴えています。とても温かく優しい方で、その対話するような語りや澄み切った歌声に、子どもたちは心洗われるような思いだったことでしょう。monさんは、いじめられる子の辛さや悲しさを語り、友達ができた時の天にも上るような嬉しさを語ってくださいました。そして、その合間に歌を歌われました。子どもたちは皆、引込まれるように聴き入っていました。素直な心をもつ、打上小の子どもたちです。



monさんのお話の前に、全員で、学習発表会の時に歌った全校合唱の「いのちの歌」を歌ったのですが、その歌声を聴いたmonさんは、感動されて、「私も歌いたくなったから歌います」とご自分も「いのちの歌」を披露されました。子どもたちに、「絶対死んだらいかんよ。」「辛いときには大人に助けてもらっていい。」と強く語られました。その時、「打上小の先生たちは、絶対に君たちを守ってくれるよ。先生たちの目は本気だよ。私には分かる。」と言ってくださり、私たちは胸が熱くなりました。そして、私は鼻の奥がつんと目頭が熱くなりました。monさんのこの言葉や子どもたちの気持ちに伝えられるように、「全教職員が協力して、全力で子ども達を守り育てていく」思いを改めて強くしました。これは、打上小学校の教職員全員の思いです。

「ノーメディアデイ」の取組み ありがとうございます

11月に佐賀県PTAの取組みに合わせて実施した「ノーメディアデイ」には、たいへん多くのご家庭が協力してくださり、また、多くのアンケートをお寄せいただきました。そのどのご意見も、「やってみて良かった」「会話をすることができた」など、ノーテレビやノーゲームのよさと大切さを実感されたというものでした。実際問題として、ずっとノーテレビやノーゲームはできません。しかし、今回のような取組みをご家庭で定期的に取り入れられることは、大変有意義なことだと思いました。

学習発表会の時に、お寄せいただいていたご感想やご意見を掲示していました。打上小の保護者の皆様の良識と温かさをつくづく感じたしだいです。ありがとうございます。



ご注意を

ゲームの問題と対応について

冬休みになると、余裕ができて自由な時間が増えます。ここでいつも問題になるのが、ゲーム三昧の生活です。ゲーム三昧とまではいかなくとも、今やるべきことを後回しにして止められない、ということがないようにしなければなりません。しっかりとご家庭で時間やゲームの内容の決まりごとを確認して守らせてください。ゲーム依存の兆候や課金の問題は、本校でも聞こえてきています。

また、子どもたちがやっているゲームの中には、小学生にふさわしくないものがあります。例えば、人気のある「荒野行動」です。殺し合い奪い合い、最後まで生き残る…。これは、15歳以上あるいは16歳以上推奨となっています。ただし、それも製作会社が設定していることですので、本当に内容の良いゲームかどうかは、このゲームに限らず、保護者の皆様がご判断ください。そして、子どもさんに、大人の視点としての考えをしっかりと教えてやってください。

あるお母さんの話を読みました。この方は、率直に話されたそうです。「お母さんは、人が人を殺したり傷つけたりする内容は、例えゲームでも嫌いです。だからこのゲームをあなたにはやって欲しくないと思う。」と。その子どもさんは、ゲーム内容を確認して「分かった。じゃあやらない。」と納得したそうです。

ゲーム三昧で失われるもの…睡眠時間、体力、学力、脳機能（記憶・判断・想像力）、人との関わり

皆さま よいお年をお迎えください